

旭中央病院 平成26年度も 黒字経営の見込み

本年度は消費税増税や診療報酬改定で、厳しい経営環境となりますが、旭中央病院の収入は順調に推移しており、引き続き黒字経営が維持できる見込みです。

今後も、地域の医療機関との役割分担や連携の強化を通じて、地域の皆さんにより良い医療を提供できる体制づくりに取り組んでいきます。

収益的収支（病院経営などによる収支）

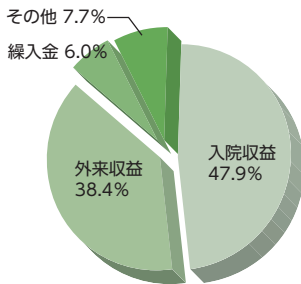
収入372億7,500万円、支出370億5,100万円、経常利益2億2,400万円を見込んでいます。

収入の主な内訳は、入院収益178億4,000万円（47・9%）、外来収益143億2,700万円（38・4%）です。

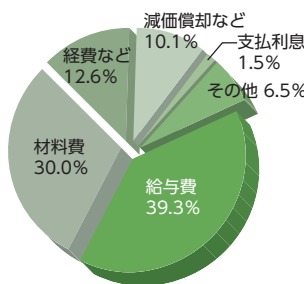
支出の主な内訳は、給与費145億5,600万円（39・3%）、材料費111億1,600万円（30・0%）、経費など46億7,600万円（12・6%）です。

収益的収支（病院経営などによる収支）

収益的収入372億7,500万円



収益的支出370億5,100万円

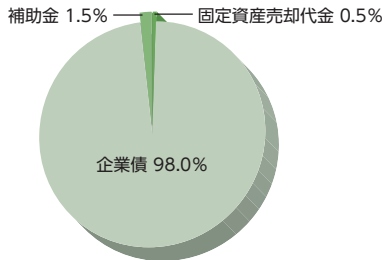


資本的収支（施設の建設・整備による収支）

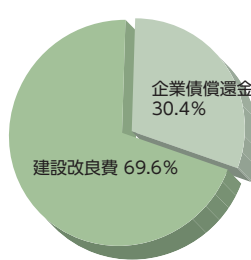
収入2億400万円、支出45億6,300万円です。収支不足額43億5,900万円は、内部留保資金（減価償却費など）から充当します。

資本的収支（施設の建設・整備による収支）

資本的収入2億400万円



資本的支出45億6,300万円



医師宿舎の建設状況

医師確保の一環として、昨年度からの継続事業「宿舎建設事業」は、本年度末の完成・入居に向けて、順調に工事が進んでいます。引き続き、騒音対策や車両出入り時の安全確認を徹底しながら行っていきます。

問い合わせ先

旭中央病院経理課

☎ 63・8111（代表）

ストップ！温暖化「旭市地球温暖化対策推進実行計画」を改訂

地球温暖化は、異常気象や生態系への影響など、私たちの生活に関わる問題です。

今回「旭市地球温暖化対策推進実行計画」を改訂しました。市の組織や施設では、計画に沿って環境負荷の低減に取り組めます。計画全文は、市ホームページで見ることができます。

目的

市の組織や施設などの事務および事業に関し、温室効果ガスの排出などの削減を行うことで、地球温暖化対策の推進を図る。

期間

本年度から30年度

対象とする温室効果ガス

市の事務・事業から排出される二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）の4物質。

温室効果ガス排出量の現状

平成24年度の温室効果ガス総排出量は2,863万778kg・CO₂でした。このうち98・5%は二酸化炭素によるものです。なお電気の使用による二酸化炭

素が、全体の77・1%あります。

温室効果ガス排出量の削減目標

電気や燃料の消費量を減らし、さまざまな取り組みを総合的に実施することが必要です。

計画では、本庁などで3・8%の削減を目標とします。旭中央病院では、電気機器の多くが医療用であることなど患者さんを最優先しますが、同じく3・8%の削減を目標とします。

温室効果ガス排出量の削減目標

対象	排出量(kg-CO ₂)		削減率
	現況	目標	
	平成24年度	平成30年度	
本庁など	8,772,401	8,439,050	▲3.8%
旭中央病院	19,858,377	19,103,759	▲3.8%

問い合わせ先

環境課環境政策班

☎ 62・5328